

祭事暦

10月1日 午前8時30分  
 月次祭  
 10月17日 午前11時  
 神嘗奉祝祭  
 10月20日 午前8時30分  
 月次祭



発行所  
 寒川神社社務所

〒253-0195  
 神奈川県  
 高座郡寒川町宮山3916  
 電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正  
 責任者  
 印刷所 樹さんこうどう



八月の猛暑、九月の残暑と厳しかった夏の暑さもようやく和らぎ、日本列島を通過する移動性高気圧が持ち込む乾いた空気が、晴れた空は高く澄み渡り「秋日和」の言葉に相応しい爽やかな季節を迎える。稲穂は黄金色にたわなに穂り、多くの野菜や果物が収穫される。基より我国は稲作を中心とした農耕民族として長く生活をしてきた。田畑を耕し、種を撒き、豊かな稔りを祈願し、日々勤めに励みつつ成熟を待ち、収穫に感謝し、再び種を大地に還す。この一連の流れを先人たちは何百何千回と繰り返し続けてきた。この永続性こそが我々の生命の源「森羅万象に神宿る」この世にある全てのものは神様からの授かりもの、全てのものに神様の御心が宿っており、生るものを敬愛し大切に扱わなければいけないとの先人の教え。今月の月参り神札「たくさんのおいしいめぐみに今日もありがとう」の言葉通り、自然の恵みの有りがたさを一番に感じられる季節。感謝と共に食欲の秋を満喫したい。今春、高円宮妃久子殿下の次女、典子女王殿下のご婚約が内定したことが発表された。お相手は出雲大社宮司千家尊祐氏のご長男国麿氏で、日本の国造り神話を思い起こさせる。九月九日には千家氏の使者が奉式の日取りを正式に伝える「告期(こつき)の儀」が高円宮邸で執り行われた。式は十月五日に出雲大社で挙行される。一般に十月は「神無月」と言われるが、出雲地方では「神在月」と言われ、全国の神々が出雲大社の御祭神大國主大神のもとに集い、人には知ることのできない事や縁結びについて会議する「神議り(かむはかり)」という話し合いを行うと言われている。この度のご婚儀も八百万の神々のお導きによるものであろうか。心よりお祝い申し上げますと共にお二人のご多幸を心より祈念する。(山田 栄)

●  
 祝祭日には  
 国旗を掲げましょう

# 例祭盛大に斎行

九月十九日・二十日の両日、寒川大明神の御神恩への感謝と更なる繁栄を祈る一年に一度の例祭が盛大に斎行されました。

例祭とは、毎年行われる祭典の中でも一番重要な祭とされ、特別な由緒の日に斎行されるもので、寒川神

社では神階昇進に関わる祝祭とされています。

十九日には、午前十時より商工祈願祭並献灯奉告祭が執り行われ、益々の営業繁栄が祈願され、午後一時からは宵宮祭、午後二時よりは大日本弓馬会により流鏝馬神事が奉納され、射手が的を射抜く度に大きな拍手と歓声が沸き起こりました。

翌二十日午前十時には例祭が厳肅に斎行され、本社本庁よりの幣帛を奉り、責任役員、氏子総代を始め全国各地から多数の崇敬者が

参加され、大前に玉串を捧げ拝礼されました。

神社近辺では、この例祭を奉祝し、テニス大会・柔道大会・剣道大会が開催され、優勝者には一之宮賞が



玉串拝礼



流鏝馬神事



献灯提灯

り協賛頂いた一九〇灯余りの提灯が掲げられ、参道も祭礼提灯で明るく飾り境内では献茶・献花・献句・盆栽展・水石と美石展・少年館生の作品展示・万灯パレード・神輿渡御・演芸大会等が開催され、両日に亘り大勢の参拝者で賑わい、例祭を祝いました。



万灯パレード



奉納演芸大会

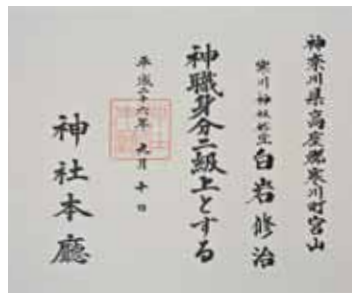


空手道演武



テニス大会

# 白岩禰宜 神職身分二級上に昇級



この度、平成二十六年九月十日付にて白岩修治禰宜が神職身分二級上に昇級されました。

白岩禰宜は永年に亘り御神威を畏み神明奉仕に勤められる傍ら、神恵苑の運営にも携わり福祉の増進に努められてまいりました。今後の益々の活躍が期待されております。

## 全総代会開催

平素、神社の護持運営にご尽力頂いている、寒川町内より選出された総代により組織される「全総代会」が、九月一日、参集殿に於いて開催されました。

当日は入澤一三責任役員が議長に選出され、六月以降に行われた祭事や行事、教化活動、事業についての報告と、平成二十五年度の一般会計・特別会計の決算報告、例祭神賑行事にテニス大会が加わった事等が出



席された方々に詳細に説明されました。

# 裁許状下附される

九月七日、寒川神社の各種神事に奉仕する九名の神事奉仕者に対し「裁許状下附式」が行われました。

一月二日の追儺祭を始め様々な神事に先祖累代奉仕を頂く方々（神事奉仕者）が居りますが、この度、奉仕者全員に神事奉仕の裁許状が下附されました。

御本殿における下附式では、修被を受けた後玉串を捧げ、今後の奉仕に対する

決意も新たに、宮司からの裁許状を受け取りました。



## 寒川神社商工奉賛会 第四十一年次総会開催

商工奉賛会では、九月十九日、商工祈願祭にて生業繁栄が祈願された後、年次総会が開催され、平成二十六年度事業計画案・予算案を審議し可決されました。

また、役員交代が行われ、副会長には東泰一氏が理事には三澤一重、小菅弘高の両氏が、監事には吉川精二氏が就任された事が報告されました。

### 神事奉仕者

追儺祭副土長 田打舞神事

小菅 隆志

追儺祭副士 金子 紋彌

皆川 米男

原 子力

大川 凌平

国府祭座問答 小菅 繁男

浜降祭御旅所神主 松本 学

追儺祭他所役 北村 良寛

節分祭所役 壁島 俊一



春風亭柳之助師匠

終了後は、春風亭柳之助師匠の記念高座が開かれ、有名な古典「時そば」の一番の見せ場である、麵をすすする音としぐさの妙技に、会場は惜しみない拍手に包まれました。



### 祭式研修会行われる



神奈川県神社庁相模湘南支部主催による祭式研修会が九月四日、十日にそれぞれ開催されました。当日は県の祭式講師である笠程稲荷神社宮司小野和伸先生をお招きし、午前中はより美しい姿にて祭祀が行えるよう基本動作を見直し、午後は神饌の献撤・祝詞奏上などを懇切丁寧に指導頂きました。



### 十月十五日 午前十一時より 人形感謝祭齋行のご案内

人形奉齋殿では、納め頂いた人形を日々お被いし毎月一日には清祓式を執行しておりますが、十月十五日が「人形の日」であることに因み、第三回人形感謝祭を午前十一時より齋行致します。

人形は年間を通じお納め頂きますが、是非この機会に御参拝下さいますようお願い申し上げます。



昨年の人形感謝祭

### 第六十八回

### 奉灯句会開催



寒川俳壇主催による奉灯句会が去る九月七日盛大に開催されました。兼題「山開」席題「衣被」の二題にて句が詠まれ、厳正なる選句の結果最高得点者には当神社より一之宮賞が授与されました。

また、例祭期間中はこの句会で詠まれた句が境内に掲げられました一之宮賞

山の子が海の子招き

山開き

寒川 根岸 君子



## 神前結婚式ご案内会

参加予約受付中

10月19日(日) 10:00~16:00

★レストラン「青葉」でのレストランチケット付き！

- ◆10:00~ 衣裳・美容体験 《記念写真プレゼント》
- ◆11:00~ 挙式セミナー
- ◆11:20~ 奉告の儀 《記念写真プレゼント》
- ◆12:00~ 模擬挙式
- ◆各種相談コーナー
- ◆人力車試乗体験

※都合により催し内容が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。



## 祝

お子さまの晴れ姿を一生涯の思い出に… 参集殿だけのお得な七五三バックです。

期間 10/1(水)・11/30(日) ※バック以外の物をお選び頂いた場合は送料が別途発生いたします。

## 七

成プラン 49,500円(税込)

●衣裳・着付、ヘアメイク、写真撮影(1ポーズ)

## 五

成プラン 36,000円(税込)

●衣裳・着付、写真撮影(1ポーズ)

## 三

成プラン 33,300円(税込)

●衣裳・着付、ヘアメイク、写真撮影(1ポーズ)



衣裳レンタル1泊2日 衣裳は翌日午前中までレンタルOK

開券料金無料サービス 七五三バックとご会費をご利用のお客様

寒川神社 参集殿 ご予約・お問い合わせは 0467-75-5555

週刊「日本の神社」

寒川神社 発行

(株)デアゴスティーニ・ジャパンで発行されています

週刊「日本の神社」の三十  
七号が「古来唯一の八方



除の守護神  
寒川神社」と  
して十月十四  
日に発行され  
ます。  
日本の神社  
は、日本の神  
道文化研究会  
主宰、三橋健  
氏により監修

され、全国より選ばれた神  
社が特集され、毎週発行さ  
れています。

寒川神社編では、境内の  
案内、縁起と御祭神、御神  
徳と祭事の他、国府祭にゆ  
かりする五社についてや相  
武国のミステリーなどが数  
多くの写真やCG・イラスト  
トにより紹介されておりま  
す。

全国の書店にて発売され  
ますので、是非一冊お求め  
頂きますよう、ご案内申し  
上げます。

第四十七回  
菊花・写真展のご案内

本年度で四十七回  
を迎える菊花・写  
真展が十一月十日  
から二十四日にか  
けて開催されます  
近隣の菊花会よ  
り出品される絢爛  
豪華な菊花約三五  
〇点、また寒川神  
社の四季折々の様  
子を写した写真約  
一五〇点が境内に  
展示されます。



▶平成二十五年宮司賞受賞作品

写真展作品募集

開催期間 平成二十六年  
十一月十日～二十四日

題材 寒川神社に係のある  
未発表の作品

サイズ 四ツ切・六ツ切(ワイド可)

出品点数 一人 五点以内

応募期間 平成二十六年  
十月一日～三十一日

入賞発表 平成二十六年十一月上旬  
(入賞者へ直接通知)

作品の裏に住所・氏名・電話番号  
画題・撮影年月日を明記のこと

お問い合わせ 寒川神社 写真展係  
☎〇四六七(七五)〇〇〇四

神楽山神苑

行事案内

神楽舞と雅楽の奉奏



十三日(月) ※祝日により開苑  
午前十一時と午後二時より

十九日(日)

午後二時のみ

約二十分間(雨天時は中止)

※尚、入苑はご祈禱をお受け  
になられた方に限ります。

今月の木札

◀神無月



月次祭にご参列された方な  
どにお頒けする木札です

稔りの秋と良く言われるが、その実りには、多くの人の手間  
が掛っている。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな 米の飯より思召し」  
神の恵みと農家の苦勞に感謝し、美味しく頂きましょう。

◆青少年活動だより

# 寒川神社 少年館

## 例祭に作品展示

去る九月二十日の例祭に合わせて、少年館では神社回廊に館生の作品を展示致しました。

七月に応募した全国学校秀作美術展や県神社庁青少年書道展・絵画展の作品一七三点と読売新聞こども俳句及びNHK全国俳句大会ジュニアの部に入選した作品十点を、十八日から二十日にかけて展示しました。



それぞれに力作揃いで、美術展や俳句では溢れる感性とその表現力の豊かさが感じられ、また、書道展では力強く堂々とした筆跡に



子供たちの集中力が感じ取れました。参拝に訪れた家族連れや祈禱を終えた方々が足を止め、子供たちの自由な発想に心とませ笑みを浮かべながら見入っておりました。また、自分の作品を家族に見てもらったりと微笑ましい雰囲気の中、寒川大明神を始め大勢の方々に見て頂きました。

こうした発表の場が子供たちのやる気を引き出し、更には誰もが潜在的に持っているそれぞれの能力を伸ばすことが出来、まさに例祭に相応しい行事として今後も継続していききたいと思います。



# GS 神奈川 第四十五回

## 雨でも楽しんだキャンブ

八月二十四日から二十六日まで、長野県の諏訪湖・白樺湖方面へ夏季キャンブに行つてまいりました。

一日目、諏訪大社上社本宮・下社秋宮をお参りした後、霧ヶ峰高原の八島ヶ原湿原を散策。お姉さんスカウトが作ってくれた高原植物ビンゴを片手に、景色や植物・昆虫観察をし、自然とのふれあいを満喫してきました。国蝶のオムラサ

## 救急法講習



放水体験

去る九月六日、救急法を学びに寒川町消防本部に行つて来ました。日頃の生活習慣から来る病気の予防やプロジェクターを見ながら緊急時にどのような行動をとるかなど学びました。

後半は、救急車の見学に防護服の試着、ポンプ車からつないだホースで放水体験など盛りだくさんの体験をさせていただき、スカウト達の笑顔が溢れる充実した時間を過ごせました。



諏訪大社下社秋宮にて

キとも遭遇！

この直後からしとしとと雨が降り始め、三日間通して降つたりやんだりが続きに溶け丸くなっていく様に驚いたり、尖石縄文考古館にて、思い思いの形に成形し、ロープで縄文模様を施した土笛を製作したり、火熾しを実際に行つたりして楽しく学習しました。

全員で楽しみにしていたか又一体験も中止を余儀なくされました。

しかし、トンボ玉作りを初めて行い、バーナーの炎によってガラスが水のように溶け丸くなっていく様に驚いたり、尖石縄文考古館にて、思い思いの形に成形し、ロープで縄文模様を施した土笛を製作したり、火熾しを実際に行つたりして楽しく学習しました。

今回のキャンブは手作り体験が多く、たくさんのおい出と一緒にとても良いお土産となりました。



救急車内部

日々の生活では薄れがちな「防災」の意識を高めそなえる心を持てた活動となりました。

451

健康手帳

# 感冒（かぜ）について!!



宗教法人 寒川神社 寒川病院

内科医長 武村 文夫

感冒（風邪）は我々内科医が、初診で見えられる患者様の最も多い原因疾患です。

風邪の定義は、医学書によつて様々です。風邪とは主にウイルスの感染による上気道（鼻腔や咽頭等）の炎症性の疾病に掛かった状態の事であり、咳嗽、咽頭痛、鼻汁、鼻づまりなど局部症状（カタル症状）、および発熱、倦怠感、頭痛など全身症状が出現した状態のことで、西洋医学的には「風邪症候群」と呼んでいることが多く、通常鼻汁は風邪の初期はさらさらとした水様で、徐々に粘々とした膿性に変化し、時に重症化します。俗称として、消化管のウイルス感染によつて嘔吐、下痢、腹痛などの

腹部症状と上記全身症状を来した状態を、「感冒性胃腸炎」「お腹の風邪」（もしくは胃腸かぜ、）と呼ぶこともあります。「風邪」の語源は定かではありませんが、医学的な定義は文献によつて異なっています。

治療としての原則は、安静、適度な栄養補給、および消炎鎮痛剤、解熱剤などを中心とした対症療法となります。上記のように感冒の原因はあくまでほとんどがウイルス感染であり、来院される患者さまが投薬を期待される抗生物質は、ウイルス感染に関しては、解熱効果も無ければ、ウイルスに対する根本的治療効果もありません。

ではなぜ我々が抗生物質

を投与するかと言えば、風邪は万病のもとと言われるように、ウイルス感染より細菌の二次感染を生じ御高齢の方であれば、細菌性肺炎を合併し、致命的な危機に進行したり、ウイルスと細菌の混合感染に対して投与するものであり、抗生物質はあくまで両刃の刃であり、漫然と長期投与すると菌交代現象というのを生じ抗生物質に効かないばい菌のみがはびこつてしまうこともあります。

患者様に良くご理解いただきたいことは、抗生物質は風邪に対する特效薬では決してなく、ウイルス感染に関しては、抗生物質は解熱効果も全く有りませんしあくまでも補助的な薬剤であるということ。また内科医としても漫然とした抗生物質の投与は避けなければなりません。天候の異常が続いている今日においては風邪を引かないよう体調管理に充分お気を付けください。



## 人事

### ◆新採用

△神 社▽

山下真理奈

寒川神社録事を命ずる

平成二十六年十月一日

△寒川病院▽

菅原 征子

磯村 和子

滝上ふき子

寒川病院勤務を命ずる

平成二十六年十月一日

△さむかわ訪問看護ステーション▽

石川 理加

さむかわ訪問看護ステーション勤務を命ずる

平成二十六年十月一日

△神恵苑▽

介護福祉士 堀口 亮

神恵苑勤務を命ずる

平成二十六年十月一日

## 職工奉仕会解散のお知らせ

去る昭和四十三年八月に、それまでの「寒川神社出入職人」と称する業者により、寒川大明神の御神徳を敬仰し、常に誠意と統制ある奉仕をすることを目的として発足した「職工奉仕会」が此の度諸般の事情により解散する事となりました。

四十六年間の永きに亘り、会員の皆様により境内の建屋の新築や、営繕管理を始め祭典諸行事に至るまで幅広く御奉仕を賜りました事は誠に有り難く、誌上より厚く御礼を申し上げます。

## 医療講演会のご案内

とき 平成二十六年十月二十九日(水)

午後二時～三時

ところ 寒川神社参集殿 **入場無料(申込不要)**

内容 結論!軟骨は減っても痛くならない!!

「何で痛いのか?膝関節!」

～膝が痛む本当の理由を教えます～

講師 リハビリテーション科主任 相原 忠洋

問合せ 電話〇四六七(七五)六六八〇

寒川病院

# 冬川俳壇

われも紅文字の薄れし開拓碑  
 消灯し耳を目にして虫の闇  
 公園の子の声消えて虫のこえ  
 山家にて一汁一菜苜蓿飯  
 新米をすでに賞味の雀かな  
 夕刊に残るほてりの残暑かな  
 その中のどれから問引く貝割菜  
 美人画の米屋のくれし団扇かな  
 遠き日の母との写真夜の秋思  
 霧晴れて墨絵の如き今朝の富士  
 新蕎麦や相席の客話好き  
 畦行きて野菊の群れに佇みぬ  
 秋涼し天気図にある低気圧  
 手つかずの土砂流木や夏の果  
 一匹を大騒ぎして秋の蠅  
 法師蟬宮の杜にて競いなく  
 亡母の名つつるとなりし秋思かな  
 秋思ふと兄弟会の写真集



根岸 君子  
 飛石 槿花  
 山本 朝子  
 伊藤 公一  
 菅沼 つめ  
 菅沼 保幸  
 芹澤 徳光  
 宮入 つる  
 倉谷 節子  
 松村 信篤  
 松本美智子  
 浦野 房子  
 竹村真砂美  
 岩田美代子  
 四ツ車梢月  
 三輪 恭子  
 露木てる子  
 原野 楽天

## 十月 手水舎奉揚

### 昭憲皇太后御歌

まごころをぬさど手向けて神がきに  
 いのるは國のさかえなりけり

# 相模詠草

通り行く見慣れた土地もいつの間にもや更地となりあり梅雨明けの朝  
 俯きて細やかに咲く万両の花の愛しさ地に落ちてこそ  
 孫達の待ちに待ってた夏旅行大海原で魚のようだ  
 稲光り怖いこわいと踞る吾の真似する愛犬チエリ  
 盆迎え先祖供養に墓掃除やさしき義母の顔浮びくる  
 むせぶほど花の香りを放ちおり枝を挽め咲く卯の花小道  
 日盛りの猛暑忘るがに文月の夕への空に三日月の美し  
 楚々とした風情に咲ける半夏生葉はたくましく水辺に生うる  
 文月の木々の茂みの影宿すわが身癒やして風は吹きゆく  
 梅雨はれ間窓に干されし雨傘の赤・青・黄色の信号となる  
 まぼろしの光の中に待つやうな月下美人の咲く夜にをり  
 ごみ埋めし場所より出たるかぼちゃ苗グングン伸びて大き実二つ  
 文月の梅雨のおわりに初せみの声とおりくる梢のあいだ  
 長梅雨のようやく明けて裏山に蝉の鳴く声晴ればれときく  
 茗荷抜く小さきこども根に無数地中の営み知らざる世界  
 雷鳴に急ぎ蚊帳中に入りたる幼なき頃をふと思ひ出す  
 幾百万の声きこゆる原爆忌「嗚呼、あの子が生きていたならば」



徳江 道子  
 宇田川時子  
 土屋トミ子  
 浜田 寿子  
 山口 幸子  
 山根喜美代  
 亀山 文子  
 安藤 慧  
 川島恵美子  
 天利 春枝  
 平澤まさえ  
 稲垣 武子  
 吉田 幸子  
 三留とく子  
 宮治友美枝  
 岡元 芳子  
 杉本 照世

## 表紙写真説明

### 編年集

神嘗奉祝祭参進風景(第四  
 十六回写真展銅賞入賞作品)

秋の七草である藤袴や桔  
 梗は絶滅危惧のレッドリス

トに登録されている。  
 子供達に野原で教えてあ  
 げる事ができなくなるかも  
 と思うと淋しくなってくる